

委 16-1

第15回宇宙開発委員会（定例会議）

議事要旨（案）

1. 日時 平成9年5月7日（水）
 14:00～15:15
2. 場所 委員会会議室
3. 議題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) 第1次微小重力科学実験室（MSL-1）計画の搭載実験の再実施について
 (3) LE-7Aエンジン燃焼試験結果（種子島第5回）について
 (4) 向井千秋宇宙飛行士の「ニューロラブ計画」搭乗決定について
4. 資料 委15-1 第14回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委15-2 第1次微小重力科学実験室（MSL-1）計画の搭載実験の再実施について
 委15-3 LE-7Aエンジン燃焼試験結果（種子島第5回）について
 委15-4 向井千秋宇宙飛行士の「ニューロラブ計画」搭乗決定について（報告）

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理

山 口 開 生

宇宙開発委員会委員

末 松 安 晴

〃

長 柄 喜一郎

〃

秋 葉 鏖二郎

関係省庁

文部大臣官房審議官	中西 卸 治 (代理)
通商産業省機械情報産業局次長	河 野 博 文 (")
郵政大臣官房技術総括審議官	麩 昭 男 (")

事務局

科学技術庁長官官房審議官	大 熊 健 司
科学技術庁研究開発局宇宙政策課長補佐	岡 本 信 司 他

6. 議事

(1) 前回議事要旨の確認について

第14回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨(案)(資料委15-1)が確認された。

(2) 第1次微小重力科学実験室(MSL-1)計画の搭載実験の再実施について

宇宙開発事業団宇宙環境利用システム本部宇宙実験グループ 高松総括開発部員より、資料委15-2に基づき、4月5日に打ち上げられたスペースシャトル「コロンビア」の飛行期間短縮のため、実験計画の大半が実施できなかった第1次微小重力科学実験室(MSL-1)計画について、NASAによる7月上旬の再飛行の決定に伴いMSL-1と同一の内容で実験を再実施すること、再実施の必要性とその概要等についての説明があった。

これに関し、委員より、4月のMSL-1の実験実施状況、再実施するMSL-1の実験のサンプル等準備状況及び実験条件の設定等について質問があった。

(3) LE-7Aエンジン燃焼試験結果(種子島第5回)について

宇宙開発事業団宇宙輸送システム本部宇宙輸送システム技術部 伊藤部長より、資料委15-3に基づき、4月24日に実施した第5回燃焼試験の結果概要、本試験で発生した液体水素ターボポンプ小配管破断及び計測配管クラ

ックの原因及び対策、次回の燃焼試験日程等について説明があった。

これに関し、委員より、今回の小配管破断原因として振動、熱勾配、音響の影響の検討結果及び計測配管クラックの原因として装着不良あるいは設計不良の可能性等について質問があるとともに、第3回燃焼試験で生じた破断の対策の効果が得られなかったことから今後の開発の実施にはより慎重を期すること及び当該小配管を外へ出さない設計変更を検討するようとの発言があった。

(4) 向井千秋宇宙飛行士の「ニューロラブ計画」搭乗決定について

宇宙開発事業団宇宙環境利用システム本部 斎藤副本部長より、資料委15-4に基づき、向井宇宙飛行士が1997年に打上げ予定のスペースシャトルSTS-90でのニューロラブミッションではバックアップペイロードスペシャリスト（地上支援者）となり、また、1998年に打上げ予定のスペースシャトルSTS-95での継続ニューロラブミッションにはプライムペイロードスペシャリスト（搭乗科学者）として搭乗することがNASAにより決定したこと、その際実施予定の日本の実験テーマ等の説明があった。

これに関し、委員より、ニューロラブ計画全体の実験テーマの選定経緯、これまでのペイロードスペシャリストの搭乗回数記録等について質問があった。

以上